

年 組 名前

2020年9月26日 どもウィークリー



野生のウマの仲間では最も体が大きいグレビーシマウマの赤ちゃんが7日、石川県能美市のいしかわ動物園で市民らに公開されました。

赤ちゃんぐんぐん成長

#石川

グレビーシマウマ



公開が始まったグレビーシマウマの赤ちゃん(右)と母親=石川県能美市で(いしかわ動物園提供)

赤ちゃんは6月22日生まれのオス。生まれた時の体長は約120cm、体重は約40kgでしたが、公開されるまでの11週間で、約150cm、約60kgにまで大きくなりました。

グレビーシマウマはアフリカ東部の乾いた平原にすみ、大人のオスはなわばりをつくり、メスや子どもは群れをつくっています。しらの幅がせまくて耳が大きいのが特徴です。赤ちゃんは好奇心旺盛の一方、ちょっとこわがりのようです。しばらくはお母さんシマウマと一緒に見られます。

※ 大人の人に記事を読んでもらって考えましょう。

問1 : 120cmは、何m何cmでしょうか。

m cm

問2 : グレビーシマウマの赤ちゃんの体長は、11週間でどれくらい大きくなりましたか。

やく cm

【活用にあたって】

テレビで、「東京ドームの10倍の広さです」などと説明されることがあります。東京ドームの広さを知らない人には全く見当が付けられません。数字に実感が伴わないということです。

小学校2年で、長さの単位を学習します。ミリメートル(mm)、センチメートル(cm)、メートル(m)について知識として身に付けます。

学習に際しては、実感を伴わせることがポイントです。身の回りのものの長さを知っていると、そのものの長さを手掛かりに、およその長さの見当を付けることができます。ものの長さをものさしで実際に測定するという活動も大切です。実際に教室で120cmくらいのもので探してみるなどして、測ることのおもしろさを実感させることです。

解答例

問1 : 1 m 2 0 c m

問2 : やく 3 0 c m